

# 【四條畷市教育環境整備に関するアンケート調査結果(概要)】

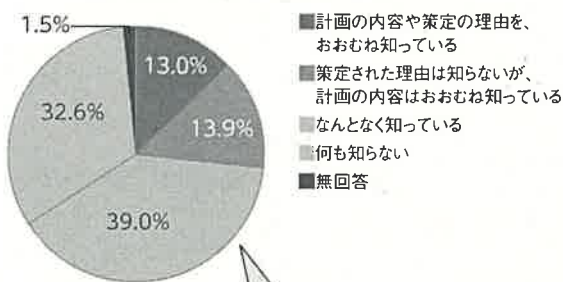
教育委員会では、市が抱える教育環境への課題を解消するため、平成27年3月に「四條畷市教育環境整備計画」を策定し、教育施設の再配置・再配備を計画に基づき進めているところです。

そのようななか、総合教育会議において、今後の小学校再編のあり方については、幅広い年齢層に対してのアンケート等を通じて、市民の皆さんの思いや考えを伺っていくことを確認し「四條畷市教育環境整備に関するアンケート」を実施し、この度、調査結果(概要)を取りまとめましたのでお知らせします。調査へのご協力ありがとうございました。

なお、小学校の再編については、まちづくり長期計画に示す公共施設の施設の新設を目的とした四條畷小学校の廃校は行わないことを念頭に、今回のアンケート結果、平成30年4月から実施予定の四條畷南中学校の活断層調査、学校を含む公共施設の劣化診断調査を踏まえ、今後さらに市民の皆さんの意見を伺ったうえで、議会との議論を行い、市長部局、教育委員会決定していきます。

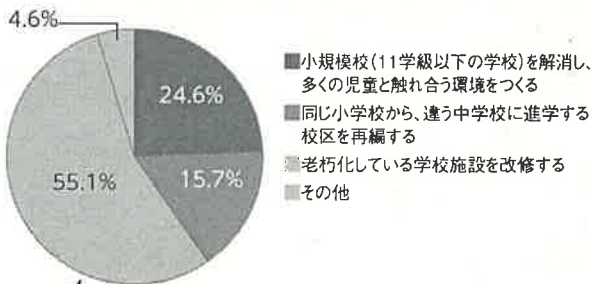
●配布数:5,000人(20代、30代、40代、50代、60代以上/各1,000人) ●回収数:1,788通(回収率:36.0% 未到達数40通を除く)

## Q. 市の教育環境整備計画について、どれくらい知っていますか?



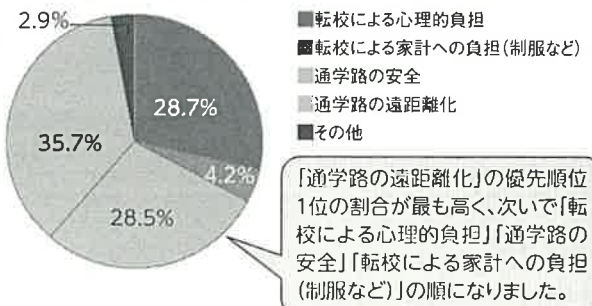
「なんとなく知っている」と回答した人の割合が最も高く、次に「何も知らない」[策定された理由は知らないが、計画の内容はおおむね知っている]の順になりました。

## Q. 計画における小学校の再編の目的のうち、賛同できるのはどれですか?(優先順位1位の割合)



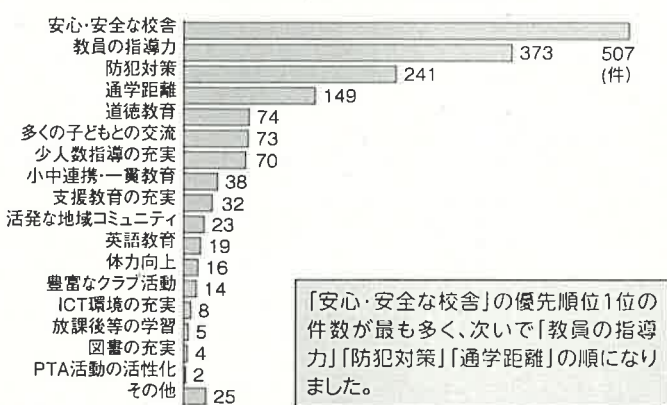
「老朽化している学校施設を改修する」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「小規模校(11学級以下の学校)を解消し、多くの児童と触れ合う環境をつくる」「同じ小学校から、違う中学校に進学する校区を再編する」の順になりました。

## Q. 計画の中で不安に思う項目はどれですか?(優先順位1位の割合)



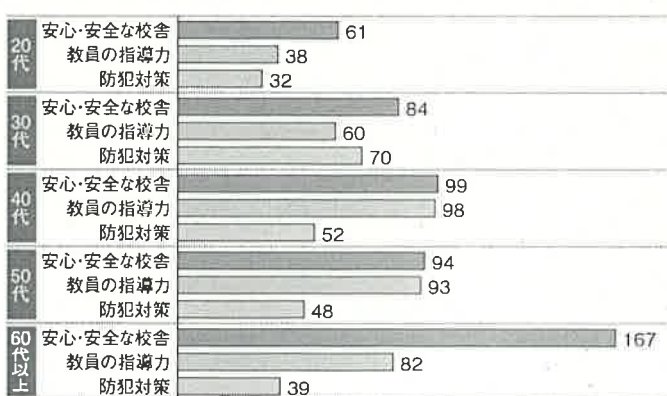
「通学路の遠距離化」の優先順位1位の割合が最も高く、次いで「転校による心理的負担」「通学路の安全」「転校による家計への負担(制服など)」の順になりました。

## Q. 子どもにとってより良い教育環境として望むことは、どのようなことですか?(優先順位1位の件数)



「安心・安全な校舎」の優先順位1位の件数が最も多く、次いで「教員の指導力」「防犯対策」「通学距離」の順になりました。

## Q. 子どもにとってより良い教育環境として望むことは、どのようなことですか?(世代別・優先順位1位の上位3項目の件数)



※年齢のなかったものを除いています。

世代別にみると、すべての世代で「安心・安全な校舎」の優先順位1位の件数が最も多くなりました。30代以外では、次いで「教員の指導力」「防犯対策」の順になりました。30代では、次いで「防犯対策」「教員の指導力」の順になりました。

## ○自由意見に509名の回答があり、意見の件数は、654件でした。主な意見は、次のとおりです。

- 通学路の安全を確保してほしいという意見
- 四條畷小学校の存続を望む意見
- 通学路の遠距離化に関する意見
- 教員の指導力の向上を求める意見 など

教育委員会 教育環境整備室